

県議員 奥村のり子の
読者ニュース

2015年5月24日 第173号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp

新しい議会の構成決まる

5月14日から19日まで臨時議会が開かれました。各委員会の人数は全議席4席、改新5議席、日本共産党3議席、公明党3議席、維新1議席(会派名簿順)となりました。

会派では自民党30議席、改新5議席、日本共産党3議席、公明党3議席、維新1議席(会派名簿順)と分することになり、委員長・副委員長ポストの自民党独占を許さないことや希望などの調整が大変難しく会派の攻防がありました。私は福祉・環境委員会を希望しましたが総務委員会所属となりました。この委員会は行財政改革問題、防災対策、地方分権、市町村合併、高等教育機関の充実、国際交流、情報化推進、人権問題、コスモパーク加太対策、国体について扱うところです。また、人権・少子高齢化問題等対策特別委員会の副委員長と

奥村は福祉・環境委員会所属に

して2年間務めます。県民が主人公の県政実現のためにみなさんの目も光らせて下さい。ぜひ傍聴にお越しいただけますようよろしくおねがいします。(奥村のり子)

戦争法反対で宣伝



戦争法の中身をマンガで訴えたプラスター。左は横幕を掲げる奥村です。

「都」構想住民投票結果は
安倍改憲タッグに大誤算

17日の「大阪都」構想の住民投票の開票速報は、それこそまさに一喜一憂しながら、布団の中でテレビを見つめました。僅差ではあったが「都」構想を否決したのでまずはめでたしでした。

有権者二百万を超える大都市の住民投票なんて聞いた事もなく、橋下市長の言う「府と市の二重行政のムダをなくす」とのうたい文句は分厚いパンフレット170万部も発行。テレビCMや連日の新聞折込みと維新の会は4億とかの政党助成金を注ぎこんだといえます。しかし「二重行政のムダ」宣伝に対し、共産党、自民党、民主党が共同で的確に反撃し大阪市廃止案を否決しました。

安倍首相や菅官房長官などは、昨年の総選挙で公明党の小選挙区候補への対抗馬として維新の立候補を取り下げさせ、「都」構想住民投票実施には公明党が賛成するよう仲介したとされます。その目的は、来年の参院選以降に与党は明文改憲を狙っていますが、参院では自公だけでは発議に必要な3/2以上の議席(162)に足らないので維新の党に賛成してほしいからです。今回の住民投票の影響で暗躍した「安倍・橋下の改憲タッグ」は、維新、橋下氏の敗北で影響力が低下し、安倍首相の思惑は大誤算となりつつあります。(編集室)

のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 5月22日 市駅前/吉宗像前宣伝、生活相談
- 23日 医生協河西地区バスツアー ウイラ
- 24日 地域訪問・ハンドマイク宣伝
- 25日 支部会議
- 26日 職場まわり
- 27日 職場まわり
- 28日 無料生活相談、予算勉強会



ご支援ありがとうございました

先市の市議会議員選挙では多くの方からご支援をいただき本当にありがとうございます。残念ながら当選することができず、期待を持って応援していただいた方には申し訳ない気持ちです。しかし、候補者として活動してきました一年、たくさんの方と出会い、多くのことを学ぶなかで大きく成長できたことはかけがえのない財産となりました。この貴重な経験を生かしてさらに成長できるように前を向いて頑張ります。

この選挙を通じて多くの方から「いまの安倍暴走政治を何とか」

戦争法案阻止へ全力でがんばります

か止めてほしい、共産党しかない」との声があり、かつてないほどの共産党への期待を実感することができました。ここに確信を持ち、これからも市民こそ主人公の社会をつくるべく活動に力を尽くしていきたいと思えます。

いま、安倍首相が日本を戦争する国にする法案を国会に提出し、力づくで押し通そうとしています。絶対に許すわけにはいきません。子どもたちにも平和な未来を手渡すために、そして希望のもてる日本にしていくために、この「戦争法案」全力で阻止していかなくてはなりません。



党市医療・福祉
対策部長
坂口多美子



Relay talk リレートーク Relay talk